

小樽の日常88枚 樽商大生が撮影

【小樽】フィルムカメラで小樽の日常風景の撮影を続ける小樽商科大3年の石川朋佳さん(21)＝札幌市出身＝の作品を展示する「おたる写真展」曖昧さと人との距離感が26日から、市立小樽美術館市民ギャラリー（色内1）で開かれている。

写真が趣味の父親の影響で、石川さんは高校1年からフィルムカメラで写真撮



影を始めた。現像するまで被写体がどう写っているかわからないドキドキ感や、うまく撮影できた時のうれしさが魅力という。

会場には2018年から今年までに撮りためた、小樽市銭函の海の風景や、友人とラーメン店で食事をしている様子など何げない日常を写し出した作品88点が並ぶ。石川さんは「小樽で見た好きなものを集めた。一つでも誰かの心に響いてくれたら」と話した。

30日まで。午前9時半～午後5時（最終日は午後3時）。無料。（日野夏美）